

## 事前評価報告書

研究課題名： 材料安全使用のための材料リスク情報プラットフォームの開発に関する研究

評価委員会委員長名： 岩田修一

記入年月日： 平成12年9月4日

評価の視点	評価結果
[課題の設定] 新規性・独創性 学問・材料技術の進歩発展 国家的・社会的・産業界的要請 新しい学問分野開拓 緊急性 波及効果	新規性、独創性のある提案で今後の新しい展開が期待される。また、国家、社会、産業界のいずれからも要請の大きい課題であるが、特に社会的重要性は大きい。新しい学問分野の開拓という点でも基礎データと現場の材料データとをリスクという視点で関係づけることは、極めて意味が大きい。計画通り進めば波及効果も大いに期待できる。
[課題の解決方法] 研究手法・実験方法の新規性・独創性 研究方法の精密・緻密さ、研究手法・実験方法の妥当性	完全とは言い切れないが、技術分野によっては世の中に不足するデータを補完・補足しながら、所期のスキームを構築することが期待される。また、現在の研究計画からは読み取れないが、パイロット研究として位置づければ、方法の精密・精緻さは、活動の進展と共に達成していけばよいと考えられる。プラントにとって上流工程の「材料」から下流工程の「構造物性能評価」までにある施行段階や検査段階についてのリスク評価も加味されることを望みたい。要素技術についての研究実績は十分であり、それらを新しい視点でインテグレートして総合的なシステムの開発を行い、社会の安全性向上に役立てようとする挑戦的な試みは高く評価できる。ただし異分野の専門家の共同作業となることから、相互のインターフェースを十分に図って実施する必要がある。
[研究実行計画] 年次計画 予算規模 購入設備計画	多岐にわたっているので、check & review のための中間目標の設定も必要であろう。また、大きなテーマであるにも拘わらず、予算額が少ない。作業内容を絞り込み、範例となるような質の高い成果を示す必要がある。共同研究者との連携により所期の成果が達成されることを期待したい。
[その他]	強いリーダーシップを期待したい。
[総合評価] (A) : 新規課題として実行すべきである B : 新規課題として一部修正して実行すべきである C : 新規課題として不適切である	
コメント:	プロジェクトの成果が産官学の関係者に幅広く簡便に有効利用が図られるようシステム開発に係わる 1/0 については特段の配慮を払っていただきたい。また、単なる報告書作りや、構築されたデータベースが強度データ、リスクデータや解析法についての百科事典で終わらないように留意されたい。リスクに関してはその概念、主張が明確になるよう安全性～経済性～社会性の面からのトレードオフの図式を最終的に明確にして貰いたい。研究実施の広報についても力を入れていただき、わが国に「リスク管理の概念」が定着する契機となることを望みたい。さらに期待を込めて注文すれば、内外における学問の進歩・発展、新しい考え方、新技術を常に積極的に導入し、自ら更新し得る能力を持ったプラットフォームの開発を目指して欲しい。